

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 フルサト工業株式会社
 コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大西 聡
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東 大

TEL 06-6946-9605

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	67,414	—	3,566	—	3,900	—	1,485	—
20年3月期第3四半期	67,678	1.1	3,188	△15.2	3,507	△14.3	1,954	△17.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	94.00	—
20年3月期第3四半期	123.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	50,043	29,823	59.6	1,887.18
20年3月期	54,025	28,860	53.4	1,826.06

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 29,823百万円 20年3月期 28,859百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	31.00	41.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

詳細は、別途開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,655	△9.1	3,630	△15.9	4,038	△14.7	1,504	△41.9	95.17

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	16,438,648株	20年3月期	16,438,648株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	635,481株	20年3月期	634,227株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	15,803,871株	20年3月期第3四半期	15,805,069株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における事業環境は、建築分野においては第2四半期に引き続き需要の減速感が見受けられます。当社10～12月の需要に係りが強い7～9月の建築着工統計によりますと、鉄骨系建築物の着工床面積は前年同期比では39.9%増加となっております。しかしながら、前年7～9月は建築基準法改正直後の需要減退期であり、一昨年と同時期に比べ39.7%減となっていることから、当7～9月の需要も一昨年と比較すると15.7%減の水準となっております。中でも非居住向けは設備投資減少の影響を受け、一昨年比17.1%減となっております。

機械工具分野においては、工作機械の10～12月の需要の主な指標となる7～9月の内需受注は19.2%減少し、3四半期連続の減少でマイナス幅も大きくなっております。製造業の生産稼働を示す鉱工業生産指数は、全体で10～12月も前期比減となり4四半期連続で低下しております。

このような環境の中、当第3四半期連結会計期間（10～12月）の売上高は、207億2百万円（前年同期比11.8%減）となりました。事業のセグメント別の売上高は、機械工具部門は製造業減速の影響を受け128億5千3百万円（同23.4%減）、鉄骨建築関連資材部門はプラント配管分野が減少したものの鉄骨建築向け資材販売は増加し58億7千8百万円（同10.7%増）、鉄骨建築関連部材部門はブレースを中心に増加し19億6千2百万円（同42.6%増）となりました。営業利益は9億1百万円（同14.1%減）、経常利益は10億5百万円（同13.3%減）、四半期純利益は3億2千6百万円（同47.5%減）となりました。

当第3四半期累計期間では、売上高は機械工具部門が445億4百万円（同6.2%減）、鉄骨建築関連資材部門が175億3千2百万円（同10.7%増）、鉄骨建築関連部材部門が53億5千3百万円（同22.7%増）となり、売上高合計は674億1千4百万円（同0.4%減）となりました。利益につきましては鉄骨建築関連分野において上期を中心に価格政策を実施したこと等により、売上総利益率は前年同期に比べ1.5ポイント上昇し15.9%となりました。販売費及び一般管理費におきましては、機械工具部門の急な減収にコスト削減が追いつかず、対売上高比率は前年同期に比べ0.9ポイント上昇し10.6%となり、販売費及び一般管理費は71億5千9百万円（同9.6%増）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益は35億6千6百万円（同11.8%増）、経常利益は39億円（同11.2%増）、特別損失に投資有価証券評価損7億7千9百万円等を計上したため四半期純利益は14億8千5百万円（同24.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39億8千1百万円減少し、500億4千3百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少30億5千4百万円等による流動資産の減少32億2千万円及び投資有価証券の減少5億3千3百万円等による固定資産の減少7億6千1百万円によります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ49億4千4百万円減少し202億2千万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少31億9千8百万円、短期借入金の減少5億4千万円、未払法人税等の減少4億8千3百万円等による流動負債の減少43億1千5百万円及び長期借入金の減少3億円、役員退職慰労引当金の減少6億5千9百万円等による固定負債の減少6億2千9百万円によります。

純資産は前連結会計年度末に比べ9億6千3百万円増加し298億2千3百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益14億8千5百万円による増加と、剰余金の配当6億4千7百万円による減少等によります。

この結果、自己資本比率は53.4%から59.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円減少し、31億5千6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億1千7百万円の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益30億1千8百万円を計上したことに加え、投資有価証券評価損7億7千9百万円、売上債権の減少額30億8百万円がありましたが、仕入債務の減少額30億6千3百万円及び法人税等の支払額18億7千9百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億1千7百万円の減少となりました。これは有形固定資産の取得による支出3億7千5百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは14億8千6百万円の減少となりました。これは短期借入金の減少額5億4千万円、長期借入金の返済による支出3億円及び配当金の支払額6億4千4百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気後退に伴い、製造業の生産設備投資の減少及び生産稼働の低下により大幅な減収減益となっております。また、株価の大幅な下落による投資有価証券の評価損の影響も考慮し、平成21年3月期連結業績予想を修正いたしました。詳しくは、本日別途開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関して、一部実地たな卸を省略し第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(追加情報)

当社及び連結子会社㈱ジーネットは、平成20年6月に開催されました定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う当該廃止日までの在任期間に対応する役員退職慰労金を、各役員の退任時に支給することを決議しております。これに伴い当該役員退職慰労引当金の残高は全額取崩し、打ち切り支給額の未払い分200,810千円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,241,953	3,608,132
受取手形及び売掛金	25,500,604	28,554,949
商品及び製品	4,196,499	3,992,210
仕掛品	624,235	544,500
原材料及び貯蔵品	241,967	161,838
繰延税金資産	198,118	337,807
その他	428,790	483,589
貸倒引当金	△68,767	△99,232
流動資産合計	34,363,402	37,583,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,958,752	2,856,297
土地	6,801,723	6,808,776
その他（純額）	649,033	730,699
有形固定資産合計	10,409,509	10,395,774
無形固定資産		
のれん	1,165,353	1,398,129
その他	142,982	119,666
無形固定資産合計	1,308,336	1,517,795
投資その他の資産		
投資有価証券	2,589,074	3,122,577
繰延税金資産	370,764	379,297
その他	1,109,083	1,131,354
貸倒引当金	△106,294	△105,197
投資その他の資産合計	3,962,628	4,528,032
固定資産合計	15,680,474	16,441,602
資産合計	50,043,877	54,025,398

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,566,183	18,764,810
短期借入金	375,000	915,000
未払法人税等	418,222	902,158
賞与引当金	272,579	520,581
役員賞与引当金	14,020	29,940
その他	882,607	711,779
流動負債合計	17,528,613	21,844,269
固定負債		
長期借入金	900,000	1,200,000
繰延税金負債	386,040	281,846
退職給付引当金	1,134,090	1,107,252
役員退職慰労引当金	49,499	708,930
その他	222,211	22,914
固定負債合計	2,691,842	3,320,943
負債合計	20,220,455	25,165,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	6,446,673	6,446,673
利益剰余金	17,613,134	16,775,555
自己株式	△187,162	△185,929
株主資本合計	29,105,060	28,268,713
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	718,360	591,115
評価・換算差額等合計	718,360	591,115
少数株主持分	—	356
純資産合計	29,823,421	28,860,185
負債純資産合計	50,043,877	54,025,398

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	67,414,979
売上原価	56,689,019
売上総利益	10,725,959
販売費及び一般管理費	7,159,505
営業利益	3,566,454
営業外収益	
受取利息	4,534
受取配当金	52,299
仕入割引	423,162
受取賃貸料	42,113
その他	27,198
営業外収益合計	549,309
営業外費用	
支払利息	15,833
手形売却損	9,883
売上割引	176,343
賃貸収入原価	9,463
その他	4,011
営業外費用合計	215,534
経常利益	3,900,228
特別利益	
投資有価証券売却益	1,500
貸倒引当金戻入額	26,062
特別利益合計	27,562
特別損失	
固定資産除却損	22,652
投資有価証券評価損	779,537
役員退職慰労金	107,008
特別損失合計	909,197
税金等調整前四半期純利益	3,018,593
法人税、住民税及び事業税	1,409,450
法人税等調整額	123,590
法人税等合計	1,533,041
四半期純利益	1,485,551

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	20,702,176
売上原価	17,385,293
売上総利益	3,316,883
販売費及び一般管理費	2,415,815
営業利益	901,068
営業外収益	
受取利息	1,230
受取配当金	22,025
仕入割引	134,825
受取賃貸料	14,086
その他	3,720
営業外収益合計	175,889
営業外費用	
支払利息	4,852
手形売却損	3,077
売上割引	59,235
賃貸収入原価	3,159
その他	1,161
営業外費用合計	71,486
経常利益	1,005,471
特別利益	
投資有価証券売却益	1,500
貸倒引当金戻入額	7,898
特別利益合計	9,398
特別損失	
固定資産除却損	3,353
投資有価証券評価損	294,474
特別損失合計	297,827
税金等調整前四半期純利益	717,042
法人税、住民税及び事業税	321,194
法人税等調整額	69,494
法人税等合計	390,688
四半期純利益	326,353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,018,593
減価償却費	328,620
のれん償却額	233,065
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,920
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,837
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△659,431
賞与引当金の増減額(△は減少)	△248,001
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29,367
受取利息及び受取配当金	△56,834
支払利息	15,833
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,500
投資有価証券評価損益(△は益)	779,537
売上債権の増減額(△は増加)	3,008,043
たな卸資産の増減額(△は増加)	△364,153
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,063,124
未払金の増減額(△は減少)	25,147
未払費用の増減額(△は減少)	53,023
長期未払金の増減額(△は減少)	200,810
その他	108,855
小計	3,360,032
利息及び配当金の受取額	57,273
利息の支払額	△20,579
法人税等の支払額	△1,879,247
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,517,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△85,923
定期預金の払戻による収入	66,223
有形固定資産の取得による支出	△375,857
有形固定資産の売却による収入	10,448
投資有価証券の取得による支出	△8,962
投資有価証券の売却による収入	20,500
子会社株式の取得による支出	△645
貸付けによる支出	△11,962
貸付金の回収による収入	10,450
その他	△41,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△540,000
長期借入金の返済による支出	△300,000
自己株式の取得による支出	△1,232
配当金の支払額	△644,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,486,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△385,879
現金及び現金同等物の期首残高	3,541,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,156,029

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	機械工具 (千円)	鉄骨建築 関連資材 (千円)	鉄骨建築 関連部材 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,853,375	5,878,308	1,962,861	7,631	20,702,176	—	20,702,176
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	310,563	3,956	—	—	314,519	(314,519)	—
計	13,163,939	5,882,264	1,962,861	7,631	21,016,696	(314,519)	20,702,176
営業利益	120,404	615,837	139,879	1,142	877,263	23,804	901,068

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	機械工具 (千円)	鉄骨建築 関連資材 (千円)	鉄骨建築 関連部材 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	44,504,559	17,532,421	5,353,422	24,575	67,414,979	—	67,414,979
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	856,715	12,340	—	—	869,056	(869,056)	—
計	45,361,275	17,544,761	5,353,422	24,575	68,284,035	(869,056)	67,414,979
営業利益	973,897	1,970,506	529,407	4,941	3,478,752	87,701	3,566,454

(注) 1. 事業区分は、商品及び製品の種類・性質の類似性、内部管理上採用している区分を考慮して決定しております。

2. 各事業の主な取扱商品及び製品・サービスの内容

(1) 機械工具

機械工具、工作機械、搬送・運搬機器、住設機器、家電・生活用品等

(2) 鉄骨建築関連資材

ハイテンションボルト、ボルト・ナット、溶接用品、塗装用品、鉄骨関連部品等

(3) 鉄骨建築関連部材

ブレース、アンカーボルト等

(4) その他

各種代理店業務、リース業務及び仕入商品の販売等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店がないため記載しておりません。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	67,678,428
II 売上原価	57,955,009
売上総利益	9,723,418
III 販売費及び一般管理費	6,534,530
営業利益	3,188,888
IV 営業外収益	523,460
受取利息及び配当金	50,783
仕入割引	419,165
賃貸料	41,294
その他	12,216
V 営業外費用	204,883
支払利息	7,649
手形売却損	8,440
売上割引	171,616
賃貸原価	9,678
その他	7,498
経常利益	3,507,465
VI 特別利益	15,930
貸倒引当金戻入益	15,930
VII 特別損失	32,824
固定資産除却損	32,824
税金等調整前四半期純利益	3,490,571
法人税、住民税及び事業税	1,365,685
法人税等調整額	170,782
少数株主利益	13
四半期純利益	1,954,090

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,490,571
減価償却費	281,859
売上債権の減少額	2,611,567
仕入債務の減少額	△1,754,890
その他	△380,786
小計	4,248,321
法人税等の支払額	△2,483,202
その他	39,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,804,397
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△66,223
定期預金の払出による収入	150,644
有形固定資産の取得による支出	△1,425,124
投資有価証券の取得による支出	△4,840
新規連結子会社株式の取得による支出	△3,032,988
その他	△45,975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,424,508
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の減少額	△125,000
長期借入による収入	1,500,000
自己株式の取得による支出	△2,006
配当金の支払額	△629,177
その他	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー	743,321
IV 現金及び現金同等物の減少額	△1,876,788
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,465,741
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,588,952

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

	機械工具 (千円)	鉄骨建築 関連資材 (千円)	鉄骨建築 関連部材 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	47,445,535	15,842,262	4,361,542	29,088	67,678,428	—	67,678,428
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	590,702	7,063	—	—	597,765	(597,765)	—
計	48,036,237	15,849,325	4,361,542	29,088	68,276,193	(597,765)	67,678,428
営業費用	46,492,501	14,523,560	4,125,890	24,202	65,166,155	(676,615)	64,489,539
営業利益	1,543,736	1,325,765	235,651	4,885	3,110,038	78,850	3,188,888

(注) 1. 事業区分は、商品及び製品の種類・性質の類似性、内部管理上採用している区分を考慮して決定しております。

2. 各事業の主な取扱商品及び製品・サービスの内容

(1) 機械工具

機械工具、工作機械、搬送・運搬機器、住設機器、家電・生活用品等

(2) 鉄骨建築関連資材

ハイテンションボルト、ボルト・ナット、溶接用品、塗装用品、鉄骨関連部品等

(3) 鉄骨建築関連部材

ブレース、アンカーボルト等

(4) その他

各種代理店業務、リース業務及び仕入商品の販売等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店がないため記載しておりません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。